

# 平成 30 年度研究推進計画

## 1 今年度の研究テーマに基づいた研究

### (1) 研究テーマ 児童生徒の意欲、主体性を育てる授業づくり

～廿特版「学びの変革」アクション・プランに基づく生活単元学習の授業改善（二年次）～

### (2) 研究の進め方

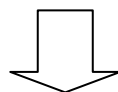
昨年度は、各学部の教職員で作成した仮説に基づき、目指す児童生徒の姿を明確にしなが、授業づくりに取り組んだ。その結果、教職員の授業改善に対する意識が高まり、児童生徒の成長・発達へと繋がる変容を実感することができた。しかし、課題として、児童生徒の変容を具体的な指標で評価ができなかったことが挙げられる。

そこで、今年度は、アクション・プランに基づく授業改善を更に進めるために次の5点に取り組む。

- ① 全校共通の仮説を基に、各学部の実態に合わせた研究仮説を設定する。
- ② 昨年度末に改善した単元（題材）計画を活用し、育成したい資質・能力を明確にして設定した目標の達成状況を、単元（題材）計画「3 カリキュラム・マネジメント」の記述を分析してまとめる。
- ③ アクション・プランに基づく授業改善シートを作成し、個々の指導・支援の適切さを、授業改善シートによる自己評価、他者評価から捉え、具体的な指標で評価する。
- ④ 単元（題材）計画及び指導略案による1学年1授業を実施するとともに、一人年間1回以上の授業観察を行う。
- ⑤ 単元（題材）計画についてアンケートを取り、より使いやすいものへ改善する。

### ア 仮説・検証方法

仮説	検証方法
育成したい資質・能力を明確にし、単元（題材）の評価規準を設定するとともに、 <u>個々の指導・支援を適切に行う</u> ことにより、育成したい資質・能力を身に付けることができるであろう。	①単元（題材）計画 「3 カリキュラム・マネジメント」欄の記述により目標の達成状況、目標設定の妥当性、指導・支援の適切さを評価する。 ②授業改善シートを活用した自己評価、他者評価による指導・支援の変容を見取る。



学部	仮説
小学部	他の単元や学習活動とのつながりをもたせ、繰り返し取り組む活動を設定すれば、学習活動への見通しをもち、自分で考えて動いたり、やりたい気持ちを表現したりするであろう。
中学部	学習活動にペアワークやグループワーク等、他者と関わる場面を設定することにより、自らの思いを伝えることができるであろう。
高等部	生徒が自ら考え、主体的に取り組み、成功(失敗)体験を積み重ねることができる場面を設定することにより、自信をもち、仲間と同じ目的に向かって働く力が高まるであろう。

## イ スケジュール（2年次）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
研修会 研究の説明	仮説決定		夏期公開講座 研究テーマ関連講座			単元づくり検討会 ⇒ 学習指導案検討会 ⇒ 授業シミュレーション 公開授業研究会（12月15日（土）） 研究授業・公開授業					研究のまとめ ⇒ 研究紀要の作成
担当学級 決定	1学年1授業 授業観察実施 単元づくり検討会⇒授業観察⇒授業まとめ										
単元（題材）計画及び指略案による授業改善（各学級）											

### (3) 1学年1授業

各学年から1学級を決め、授業観察を実施する。多くの教職員が授業観察できるよう時間割を変更し体制を組む。実施に向けた大まかな流れは以下のとおりとする。

- ① 授業開始2週間前：授業者から授業のねらいを説明する単元づくり検討会を各学年で実施する。
- ② 授業開始1週間前：単元（題材）計画、指導略案を研究部に提出する。
- ③ 授業実施：授業改善シートを持参して授業観察する。
- ④ 授業後：授業者、参観者は、授業改善シートを研究部に提出する。授業のまとめを研究部が行い、各学年で振り返りを行う。その後、学部全体に報告する。

### (4) 公開授業研究 平成30年12月15日（土）

#### ア アドバイザーを招聘しての授業研究

学部	所属・職名・氏名
小学部①	広島文教女子大学 人間科学部 人間福祉学科 李木 明德 教授
小学部②	広島県教育委員会 特別支援教育課 松浦 知佳子 指導主事
中学部	広島県立教育センター 濱崎 奈緒 指導主事
高等部	広島大学大学院教育学研究科特別支援教育学講座 竹林地 毅 准教授

#### イ 公開授業研究担当学級及び授業者

小学部①「生活単元学習」単一障害学級	5年2組	（石津 愛希）
小学部②「生活単元学習」重複障害学級	4年4組	（朽木 こころ）
中学部「生活単元学習」単一障害学級	1年2組	（山本 久美子）
高等部「生活単元学習」単一障害学級	1年2組	（田中 麻美）

#### ウ 単元づくり検討会（1学年1授業、公開授業研究）、学習指導案検討会（公開授業研究）、授業シミュレーション（公開授業研究）、公開授業研究会

1学年1授業のための単元づくり検討会を各学年で実施する。1学年1授業を行い、明らかになった課題を基に授業改善を行う。具体的には、各分科会に分かれ、公開授業研究会に向けた各授業の単元づくり検討会及び学習指導案検討会を経て公開授業研究会を実施する。また、公開研究授業を担当しない学級においては、

単元づくり検討会，1学年1授業，授業まとめ等の成果と課題を踏まえ，単元（題材）計画及び指導略案による授業改善に努める。

公開授業研究に向けた流れ	
各分科会	単元づくり検討会 10月
	学習指導案検討会 10月
	授業シミュレーション 11月

(5) 各学級の実践成果の公表

- ・各学級（公開授業研究担当学級及び訪問学級を除く。）が研究テーマに基づいて行った授業改善の成果と課題をまとめ，公開授業研究会でポスター発表を行う。また，「授業実践集」としてまとめる。

(6) 公開授業研究会

平成30年12月15日（土）

日程	内容
9:10	児童生徒登校
9:20～ 9:40	受付
9:45～ 10:00	開会行事，研究説明
10:05～ 10:55	公開研究授業
(小学部	小学部①「生活単元学習」単一障害学級 5年2組 (石津 愛希, 高本 菜穂子)
10:05 ~10:50)	小学部②「生活単元学習」重複障害学級 4年4組 (朽木 こころ, 大呑 美子)
	中学部 「生活単元学習」単一障害学級 1年2組 (山本 久美子, 柳川 千春)
	高等部 「生活単元学習」単一障害学級 1年2組 (田中 麻美, 久保田 丞)
	下線は授業者
11:00～11:50	小・中・高等部公開授業（訪問学級，公開研究授業担当学級を除く全学級）
(小学部	
10:55～11:40)	
12:00～13:30	校内見学，ポスター展示見学，昼食休憩（13:30：児童生徒下校） （13:00～13:30 研究協議会打合せ：担当者のみ）
13:30～13:45	研究説明
13:50～14:45	各学部・研究協議会（保護者参加不可）
14:45～14:50	休憩・移動
14:50～15:50	講演 「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた単元・授業づくり」 講師 広島大学大学院教育学研究科特別支援教育学講座 竹林地 毅 准教授
15:50～16:00	閉会行事
16:00～16:45	教職員：休憩
16:45～	片付け

(7) 夏期公開講座の実施

平成30年7月24日（火）～7月26日（木）の3日間開催する。

- \*このうち，研究部主催の講座については，本校の研究テーマに関連した内容の講座とする。

## (8) 研究のまとめ

ア 平成 30 年度研究紀要の作成

イ 授業改善の視点で成果と課題を整理し、平成 31 年度研究推進計画を作成する。

## 2 各研究大会への参加と発表

広島県特別支援学校教育研究大会での研究発表（ポスター発表予定）

平成 30 年 12 月予定

## 3 専門職との連携について

### (1) 専門職研究協議会

各学部から 1 名の児童生徒を対象とする。主に自立活動についての目標、指導内容について、作業療法士、理学療法士から助言を受ける。前期の協議会は 6 月～7 月に設定し、授業参観をしてもらう。その後担任は指導内容を実施し、後期の個別の指導計画作成に反映する。後期の協議会は 10 月に設定し、授業参観を通して、後期の目標、指導内容についての助言を受ける。

### (2) 言語聴覚士による指導

摂食指導、言語指導について、担任からの希望を集約して、言語聴覚士（外部人材活用制度）から指導助言を受け、日常の摂食指導、言語指導に反映させる。（希望のあった児童生徒について、最高で 3 回程度の指導を受けることができる。今年度も 48 時間程度を計画し、年間を 1 期～3 期に分けて実施する予定である。）

## 4 研究だよりの発行

今年度の研究テーマ及びテーマに沿った研修会、一学年一授業、公開授業研究会等の取組を研究だよりにおいて公開する。また、専門職との連携（専門職研究協議会、言語聴覚士からの指導助言等）についても、研究だよりに掲載し、本校教職員で成果を共有するとともに保護者及び関係者に情報発信をしていく。（研究だよりは、本校教職員、保護者に配付する。また、本校ホームページに掲載する。）

## 5 平成 30 年度研究部様式

研究部様式 1（研様式 1）・・・平成 30 年度 学習指導案（細案用）

研究部様式 2（研様式 2）・・・単元（題材）計画

研究部様式 3（研様式 3）・・・平成 30 年度 指導略案

研究部様式 4（研様式 4）・・・平成 30 年度 専門職研究協議会

研究部様式 5（研様式 5）・・・平成 30 年度 言語聴覚士による指導・助言記録

研究部様式 6（研様式 6）・・・平成 30 年度 授業改善シート